

平成30年度男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰受賞者

氏名	現職等	都道府県	功績概要
あべ よりたか 阿部 頼孝	徳島文理大学名誉教授	徳島県	平成8年以来徳島県の男女共同参画に携わり、平成24年からは徳島県男女共同参画会議会長として、「ともに輝く『新未来とくしま』創造プラン」の策定に尽力し、県内における「男女共同参画立県とくしまづくり」の推進に貢献した。平成21年からは徳島県立男女共同参画交流センター運営委員会の委員長として事業を推進した。
いとう きみお 伊藤 公雄	滋賀県・京都府・大阪府男女共同参画審議会会長	京都府	滋賀県・京都府・大阪府の3府県において長年にわたり男女共同参画審議会委員・会長を務め、男女共同参画計画策定に向けた提言とりまとめを行うなど男女共同参画社会の実現に向け尽力した。
いのうえ ゆみこ 井上 弓子	みやぎ・やまがた女性交流機構会長	山形県	専業主婦として横浜で長年過ごしたあと山形に戻り、母から事業を継承。会社経営に携わり、平成24年には山形商工会議所初の女性副会頭に就任。また、宮城、山形、福島女性の交流会を実施するなど自ら女性活躍のロールモデルとして山形県の商工業分野における女性の活躍に多大な影響を与えた。
おおしろ きよこ 大城 貴代子	沖縄県女性団体連絡協議会会長	沖縄県	結婚により沖縄県に移住。県の女性行政に携わった後、県内の市町において男女共同参画に関する委員会の委員長等を務め男女共同参画を推進した。また、平成28年から沖縄県女性団体連絡協議会会長に就任し女性の意識啓発、女性指導者の育成に貢献した。
かいばら みよこ 貝原 己代子	特定非営利活動法人さんかくナビ理事長	岡山県	平成16年にNPO法人さんかくナビを設立。代表として、民間シェルターを設置し、DV被害者を安全に保護するとともに、自立に向けた継続的な支援を行った。また、岡山市の男女共同参画専門委員会の委員を14年にわたり務めるほか、岡山県の男女共同参画推進センター運営委員を7年にわたり務めている。
つちかわ れいこ 土川 禮子	社会福祉法人清泉福祉会理事長	三重県	小学校の校長を務めたあと、県において女性政策に携わり、女性センター（現三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」）の開設に尽力した。その後、日本女性会議を津市へ誘致し、実行委員会の会長を務めるとともに、津市、鈴鹿市、尾鷲市の男女共同参画審議会の会長等として、男女共同参画基本計画の策定等に係る助言を行うなど、豊富な経験と知識をもとに県内の男女共同参画の推進に貢献した。
はしもと ひろこ 橋本 ヒロ子	十文字学園女子大学名誉教授・十文字中学・高等学校校長	東京都	国連女性の地位委員会の日本代表を7年間にわたって務め、毎年ニューヨークで開催される年次会合において各国代表と意見交換に参加。我が国の女性活躍の取組について世界に発信するとともに、政治・市民・社会・教育分野等における女性の地位向上に向けた経済社会理事会に対する勧告・報告・提案等を各国代表とともに取りまとめた。
ひらが けいこ 平賀 圭子	特定非営利活動法人参画プランニング・いわて理事長	岩手県	東京都豊島区、埼玉県で男女共同参画の事業に10年余り携わったあと、岩手県において男女共同参画を進めることを目的としたNPO法人を平成17年に設立。同法人は盛岡市「もりおか女性センター」の指定管理を10年以上受託し、東北の市町村初となる配偶者暴力相談支援センター設置や起業の相談に尽力。岩手県の東日本大震災津波復興委員会の下に平成26年に設置された女性専門委員会の委員として県の施策推進に貢献した。
ほしの えいこ 星野 映子	前一般財団法人群馬県母子寡婦福祉協議会理事長	群馬県	昭和48年に桐生市母と子の会に入会以来、45年間（うち正副会長を20年）にわたり母子寡婦福祉の向上のための活動を行っている。平成14年からは一般財団法人群馬県母子寡婦福祉協議会においても活動。副理事長を8年、理事長を4年間務め、支援制度をまとめたハンドブックの作成、市町村への出張就業相談会の開催など、女性の活躍やひとり親家庭への支援に貢献した。
みのぐち かつみ 蓑口 勝美	元富山県男女共同参画審議会会長	富山県	県立高校の校長を務めたあと、平成19年から富山県男女共同参画審議会会長として「富山県民男女共同参画計画（第3次）」や「富山県DV対策基本計画（第3次）」の策定に尽力するなど、男女共同参画施策の推進に多大な貢献をした。